

水産技術センター試験・研究課題事後評価表

水産技術センター評価委員会

試験・研究課題名：透過型堰堤の魚道としての機能

大課題名：河川湖沼漁業の振興

小課題名：資源管理技術の開発

細目課題名：漁場有効利用調査

担当者名：主任研究員 大濱秀規

評価項目	評価点	指摘事項
1 研究目標の達成度	4 / 5	まだ達成には至っていないが、もう少し実用性に近付くと良い。
2 成果の有用性 (普及性、波及性)	4 / 5	重要な成果である。設計図のモデルを作成するなど具体的提案がほしい。堰堤前後の石の状態も研究してほしい。
3 研究の発展性	5 / 5	河床勾配が大きいところでも機能する可能性を示しており、発展性はある。
4 研究課題選定の妥当性	5 / 5	大きい課題であり、現実に普及しつつあることから、妥当である。
総合評価	4.5 / 5	今後継続的に発展的な研究を望む。長い区間で溪流の特性の観察をすると良い。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

今回得られた結果を更に詳細に分析し、具体的な提案に結びつける。